

★本紙名『8200』とは改正商法による「株主代表訴訟」に要する裁判費用に由来します★

Daily  
Fax  
News

日刊

8200

発行月光社情報出版  
編集財部研一郎  
東京都中央区日本橋箱崎33-1  
☎ 03-3668-8200(代表)

1994-11-24

【人物突撃インタビューシリーズ】…その7・3… 『敬天新聞社』白倉康夫社主の巻  
「今は『打倒、日本船舟自振興会！粉碎、笹川支配！』」

## 『敬天新聞社』白倉康夫社主、直撃取材第3弾！！

『敬天新聞社』白倉康夫社主へのインタビューはなおも続く。…壇上では、小川薫氏の熱演が依然として続いている。具体的な企業名やアウトローの名前がポンポン飛び出すたびに、待合せのために噴水前で立つ人たちまでもが、小川氏の方へ顔を向ける。時折、拍手まで聞こえる盛況ぶりである。

白倉氏の言葉を繋げよう。…「『富士銀行』の株主総会に出席したのも、元はと言えば系列銀行である『莊内銀行』の行員による融資詐欺事件の黑白をつけるべく、親銀行たる『富士銀行』の大手町の本店前で街宣活動をしたところ、本体自身(=富士銀)の不正融資事件や数々の疑惑が浮かんできた。…そこで『これは徹底的にやらねばいかん！』ということで急撃、総会に出席したのだが、まだまだ『莊内銀行』の問題も含め、糾弾活動が終わったわけではなく、また終わらせるつもりも毛頭ない！」…ここまで一気に喋った白倉氏、頭に巻いた手拭いで顔をゴシゴシ、小紙記者にニッコリ微笑みかけたその童顔は、とてもじゃないが、「歴戦の勇士」のそれには見えない？

「我々、『敬天新聞社』が不正を糾弾するのは大企業に限りません！政治家然り！行政当局然り！悪徳商法然り！…これまで世間に蔓延する“不正”と“悪”に対しては、正面から堂々と戦いを挑んできましたし、今後もその方針を変えることは絶対にありません。“悪人ども”が完全に反省するまで、あるいは被害を受けた人たちに対して、心より『悪かった！』と認めるまで徹底的に行動しますよ！…例えば、政治家と言えば長崎県選出の衆院議員・久間正生！運輸委員長時代、『佐川急便』の実質的な番頭と云われた“政治家”だが、同社の顧問として何億円ものカネを自分の腰へ。もちろん、当人はその疑惑を否定しているが、当新聞社の運動以来、情報提供が続々！…『天網恢々粗にして洩らさず』の例え通りの展開になっていますよ！」

「これからはどのような活動を？」…小紙記者のテレコも時間オーバーでここからは筆記になる。…「現在、注目しているのは〈商品取引業界〉。特に札幌市に本社を置く『S貿易』についてはトコトンやろうと思っているよ！当然に“ナアナア体质”的行政当局についても同様だ！…次には、悪名高き？『南千葉ゴルフクラブ』の経営母体である『日栄会社』の佐藤泰某なる詐欺師の糾弾だ！“第二のミズノケン事件”として大きな社会問題にするつもりだ！…そして、やはり大手ゼネコンのX社。今は具体的な社名は言えないが『松尾橋梁談合事件』以上の根が深い事件だよ！…他には、まだ調査中で8割ぐらいしか証拠は集まっていないが、このところ靈感詐欺商法で被害者続出の『T易通販』(港区赤坂)もやらなければいかん！殊もあるうに、最近兜町で開業した〈投資顧問〉にも深く関与するなど、とにかく世間をナメきっている輩は許さぬつもりだ！…それと目下、全力投球の笹川一族支配の『日本船舟自振興会』！…先程も言ったが、戸田競艇場の八百長疑惑、笹川良一の元側近のひとり・大森修平の悪業の数々、そして京都市長戸田市長を巡るドス黒いカネの流れなど…相手はマンモス組織だけれど、こちらも死にもの狂いでトコトンやるつもりです。25日には、大久保の〈ホテル海洋〉で『モーターボート競走会』の役員会議が開かれる予定だが、そこへも街宣をかけるつもりだ！」(右コピーは戸田競艇場八百長疑惑糾弾ビラ)

最後に笑しながら白倉氏…「御社の紙面を借りて申し訳ないが…ウチには社会悪の糾弾のために『敬天目安箱』というのを設置しています。相談料も経費も一切無料で、どんな問題でもお聞きします。大いに利用して下さい。」とPR？の言葉でインタビューを終えた。…小川氏の演説も終了間近。白倉氏、ニッカポッカの裾を翻し、再び壇上へ！…彼を『新時代の超行動派の旗手のひとり』として見るのは、おそらく小社だけではないはずである。“好漢、自愛せよ！”

\*「敬天目安箱」は次の通り。埼玉県戸田市美女木2の27/29、☎ 048(421)0356(代表)

◆年間購読料〈個人会員〉20万円〈法人会員〉30万円◆後記欄に〈⇨〉がある場合は会員専用電話にダイアルして下さい◆当社は収益金の一部を『厚生省エイズ予防基金』に寄付しています◆

☆☆☆ 会員専用 禁無断複写転載 ☆☆☆

### !!戸田競艇場の 諸惑を追放せよ!!

先日国会で埼玉県警が八百長事件を指摘、  
当時審判長は伊藤院(現県企画監理事)だった。

10年前のボート界内々で中村也造の暴虐不  
良、タレギヤ事件。真実は、戸田競艇場が忍び  
込んで出力をいじり細工した事実。

### 現場管理のズサン

競艇ファン、戸田競艇にたどり着く  
際御せよ！ 斎藤市長

世の中にはびこる懲と闘います  
懲の情報をお待ちしています

敬天新聞社

埼玉県戸田市美女木2-27-29  
TEL.048-421-0056 FAX.048-422-4814